



地域の学校応援団

「地域学校協働活動」導入

旭市教育委員会では、保護者、地域住民、地元企業、各種団体などの幅広い参画を得て、地域全体で子どもたちの学びや成長を支えると共に、学校を核とした地域づくりを目指して「地域学校協働活動」を推進していきます。

学校と地域が連携・協働する活動

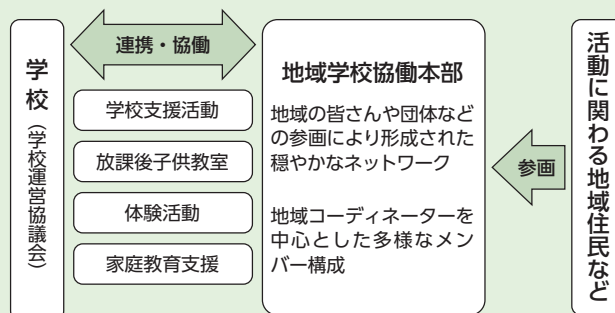
これまでも学校では、登下校の見守りや読み聞かせボランティアなど、地域の皆さんによる支援が個別に行われてきましたが、これからは組織的かつ継続的に活動ができるよう各学校に「地域学校協働本部」を設置し、地域の皆さんなどと学校との連絡調整を行う「地域コーディネーター」を配置することで、地域の実情や特色を踏まえた、円滑で効果的な地域学校協働活動を進めていきます。

令和4年度からモデル校でスタート

【矢指小・共和小・滝郷小・飯岡小・古城小】

中学校区ごとに選定した5校のモデル校に、地域学校協働本部を設置し、市の地域学校協働活動を円滑に進める体制や運営の在り方を検証していきます。将来的には、全ての小・中学校に地域学校協働本部の設置を目指しています。

〈協働本部のイメージ図〉



地域の皆さんへ

地域学校協働活動への協力

学校支援ボランティアに参加しませんか

地域学校協働活動は、子どもたちや教職員、地域の皆さんが活動を通して触れ合うことで、出会いや発見があり、たくさんの元気をもらえる活動です。

子どもたちのために学校を良くしたい、元気に地域をつくりたい、そんな「志」が集まる学校や地域がつくられていくことを目指していきます。

「できる人が、できるときに、できる範囲で」学校を支援していただける人の協力をお願いします。

くわしくは、生涯学習課に問い合わせてください。

あさひ輝いた人々

第43回

中小企業の振興・発展に尽くした人

菅生 義一 (1915～1995年)



義一は25年にわたり飯岡町商工会長を務めた人物です。大正4(1915)年に飯岡町に生まれ、昭和8(1933)年に匝瑳中学校(現匝瑳高校)を卒業後に海軍に入りました。昭和17(1942)年に江田島海軍兵学校を卒業し、太平洋戦争に従軍しました。このときの厳しい訓練が義一の精神力を強くしたといえます。戦後は、地元で水飴製造業を始め、飯岡町水飴工業協同組合を設立しました。

昭和30(1955)年に飯岡町議会議員に初当選し、3期12年を務め、そのうち議長を連続して8年間務めました。その間、町で一番の課題であった漁港問題に取り組んだほか、農業協同組合の合併、観光事業の育成、消防団の充実に尽力しました。自身でも昭和41(1966)年か

ら国民宿舎の経営を行いました。

こうした功績により、昭和38(1963)年から昭和63(1988)年にわたって、飯岡町商工会長として、小規模事業者の経営改善や地域振興の発展に努めました。昭和42(1967)年には、地元の強い後押しにより県議会議員に初当選します。行政などと連携し、地域経済のリーダーとしての幅広い活躍は関係機関からも高い評価を得ました。千葉県商工会連合会の副会長を2年、その後会長を16年、全国商工会連合会副会長も務め、商工会組織の強化、大型店出店対策、中小企業金融対策などに大きな功績を上げました。

剣道や読書を趣味とし、大柄で親しみやすい風貌に、おごり高ぶることのない温厚な性格は、誰からも好かれたといえます。



昭和46(1971)年に、友納千葉県知事と飯岡漁港を視察する義一(写真左)